

## NDSグループのCSR活動

NDS株式会社



### 1. はじめに

NDSグループは、グループ各社がCSRへの取組みを具体的に進める共通の方針として「NDSグループCSR憲章」を制定し取り組んでいます。

私たちNDSグループの事業活動は、お客様、取引先、官公庁、従業員、地域社会、株主というステークホルダーの皆様との関わりの中で行っています。

NDSグループは、企業として果たすべき社会的責任（CSR）を的確に認識・実践し、ステークホルダーの皆様から愛され、信頼され、成長、発展を望まれる企業グループであり続けるために、グループ一丸となって、企業価値を高めながら、社会の発展に取り組んでいきます（図1）。

以下において、NDSグループのCSR活動の具体的な取組みについて、ご紹介させていただきます。

### 2. お客様のために

#### (1) お客様満足度（CS）向上への取組み

##### ①CS向上委員会の開催

支店内CS向上委員会でCS向上に対する対策の検討や取組み評価を行い、NTT事業本部CS向上委員会では会社全体としての取組方針の検討や各支店での取組みの展開、アフターケアコール結果に基づく不満の声への対策および、賞賛者の取組み内容展開を月1回開催し、さらなるCS向上に向け取り組んでいます。

#### 《NDSグループCSR憲章》

NDSグループは、企業理念のもと、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たし、広く社会に貢献するため、人権を尊重し、関係法令およびその精神を遵守するとともに、次の7原則に基づき、社員一人ひとりが“自主性”“積極性”をもって行動します。

1. 安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して、信頼の技術と品質を提供することにより、お客様に安心と信頼を感じていただけるよう活動します。
2. 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
3. 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を公正に開示します。
4. 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保します。
5. 環境保全活動を通じて、かけがえのない地球を守り、広く社会に貢献します。
6. 企業市民として積極的に社会貢献活動に参加し、事業を通じて社会の発展に寄与します。社会への協力、ボランティア活動への参加、文化・芸術への支援など社会貢献活動を継続的に実施し、企業市民としての役割を果たします。
7. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決します。

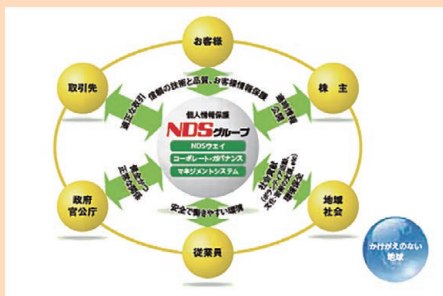


図1 NDSグループCSR憲章

②マナー研修の実施

ユーザ施工者向けのCSマナー研修をすべてのユーザ系施工者を対象に年1回以上開催し、各支店でのクレーム事例を交えたお客様応対や工事説明ロールプレイなどの研修を行い、毎年受講することによるマナー向上とCS意識の高揚に取り組んでいます。

(2) マスター認定制度の導入

①CSマスター認定制度

お客様満足度、工事品質およびスキルレベルが高いユーザ系施工者のさらなるモチベーションとCS意識の向上を図るため「CSマスター」を認定しています。

②アクセス系施工者のマスター認定制度

アクセス系施工者の活性化を図るため、複数の施工能力保有に努め、高品質を維持するアクセス系施工者に対して「アクセステクニカルマスター」を認定しています。

③保守系技術者のマスター認定制度

保守系技術者に対しては「メンテナンスマスター」を平成28年より

導入し、モチベーションや責任感、競争意識の高揚を促しています。

各マスターの認定は年に一度、Gold、Silver、Bronze、Masterの4クラスで認定し、平成28年度末までに、Gold:2名、Silver:10名、Bronze:58名、Master:260名を認定しました。

それぞれの上位認定者はポスターに顔写真を載せて各支店に掲示することで、認定者やまだ認定されていない施工者の意識の向上を図ります(写真1)。

NDSグループでは、屋外研修設備を備えた「テクノロジー総合センタ」で基本を学び、その後の現場OJTの場とした「高度技術担当」において新技術やレガシー系技術に関することで知識を実践力に育て上げています。さらに、全社員が活躍できる活力ある業界とすべく、女性活躍の場を広げる育成にも取り組んでいます。

(2) 福利厚生者の取組み

社員の健康を守り増進していくために、健康保険組合、産業医および専門機関を通じて、健康管理を行っています。さらに研修、相談の対応

3. 社員のために

(1) 人材育成の取組み

NDSグループでは、社員は会社を支える重要な“財産”であると考え、キャリアステップに応じた人材育成体系を整えて取り組んでいます。

通信インフラ工事の技術者育成では最新技術の習得に加え、レガシー系技術の継承も重要な課題です。そのため、技術者育成は長期的視点に立って計画的に実行していくことが求められます。



等によりメンタルケアやハラスメント防止に努めています。

(3) 職場活性化の取組み

NDS名古屋支店では、昨年よりNDSグループ社員の家族を招待し「家族のための会社見学会」を年に1度開催しています。バケット車の試乗体験や建柱作業見学、金属探知機を使った宝探しゲームなどにより家族に楽しんでもらっています。

この見学会を通して、家族の仕事に対する理解と社員の一体感がより一層培われました（写真2）。

4. 安全のために

『安全はすべての事業活動に優先する』との基本方針により、各種安全施策の推進や安全教育、指導者の育成・配置を進め、「お客様の信頼向上」と「全従事者の安全確保」ならびに「施工品質のさらなる向上」を目指し、取り組んでいます。

(1) 安全サイクルの推進

現場で取り組む危険予知・排除活動を「安全サイクル」（図2）と称して推進しています。送信者と受信者が互いに情報をキャッチボールする“2Way（双方向）コミュニケーション”を「安全サイクル」共通の基盤

として、小集団でのコミュニケーションと現場単位でのコミュニケーション・確認動作を推進して人身事故、設備事故の撲滅に取り組んでいます。

(2) 安全スーパーバイザー（SSV）の育成

平成25年度より、安全施策を展開・指導していくための問題解決力と指導力を有した人材を育成しています。

1年間の研修と社内認定制度により、NDSグループ全体で100名を目標として育成を推進しており、平成28年度末で67名のSSVを認定しました。

認定後は、各組織においてSSVが安全担当と連携して安全活動を推進し、事故撲滅に取り組んでいます。

(3) 事故撲滅推進会議の開催

当社では毎月、「事故撲滅推進会議」を開催し、事故撲滅に向けて各支店長や各グループ会社社長等と、直近の事故事例に対する安全対策の議論や、安全施策の共有などに取り組んでいます。

また、会議終了後には各支店で身近な安全施策を議論し、安全意識の高揚を図っています。

なお、社員1人ひとりが「事故ゼロ」の意識を持って行動した結果に対し、NTT西日本様より「平成28年度下期における無事故継続会社」として感謝状を賜りました。

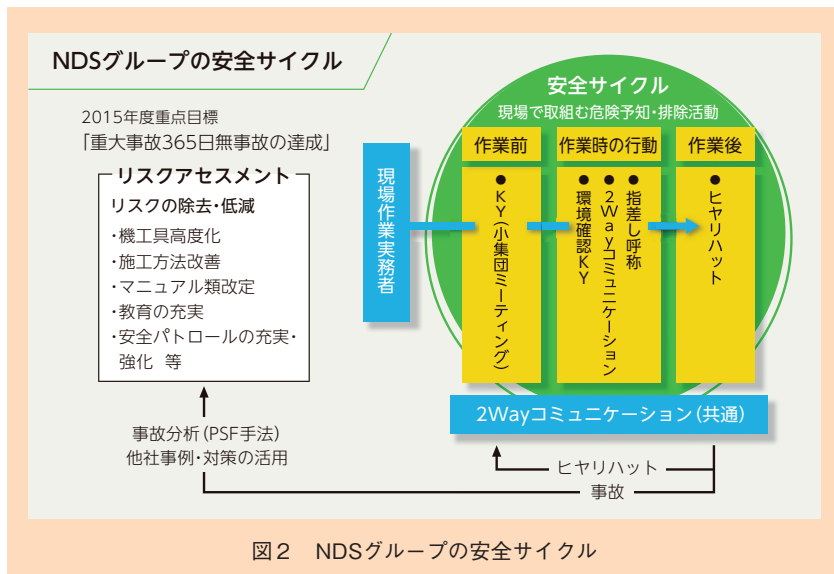


図2 NDSグループの安全サイクル



写真3 日めくりカレンダー



写真4 セーフティポスター展示



### (4) 「日めくりカレンダー」や「セーフティポスター」の作成

名古屋支店では1年間ゼロ災害達成までの残り日数が書かれたカレンダーや安全への願いをこめたポスターを社員や家族の協力で手作りし、各拠点の玄関に配置しました。

家族やお子さんのメッセージやイラストが数多く、思いが伝わる手作りカレンダーやポスターで安全への意識付けになっています(写真3・4)。

### (5) お客様情報保護の推進

お客様情報の取扱いについて十分な配慮を行うため、独自に「情報適正運用管理マニュアル」を制定してお客様情報の保護に努めています。

また、ユーザ施工者向けに業務用スマートフォンを配備してペーパーレス化とお客様情報の不適切利用の防止、端末紛失時における遠隔初期化など、徹底したお客様情報の保護に取り組んでいます。

### (6) 品質確保の取組み

平成29年4月1日より電気通信設備請負工事の施工における「全数写真検査」が本格適用されました。

これらの仕組みに確実に対応することで、さらなる設備品質の向上を図ることとしています。

### (7) さらなる事故防止の取組み

当社独自の取組みとして、工事における危険工程の着手前および完了の都度、現場施工者から「危険工程管理センタ」へ確認の連絡を取るようになっています。「きっちり工事運動」に基づく声掛けにより、危険工程に対する緩みのない意識の維持につながっています。

また、構造改革ガイドラインにおける安全パトロールでは、開通工事施工者が携行する業務用スマートホ

ンの位置情報により、安全かつ的確に行うことが可能になりました。

## 5. 地域社会のために

### (1) 地域貢献活動

NDSグループは、企業市民としての役割を果たすため、積極的に社会貢献活動に参加し、事業を通じて社会の発展に貢献していきます。以下に取組みの一部をご紹介します。

#### ① 全社統一の清掃活動

毎月特定の日を清掃ボランティアの日と位置づけ、10年以上前から、全事業所において始業前に事業所周辺の清掃活動を継続的に実施しています。

#### ② 地域でのボランティア活動

##### ・カーブミラー清掃

静岡支店では、高所作業車を活用してカーブミラーの清掃を行うことにより、子供やお年寄りを交通事故から守るお手伝いをさせていただいています(写真5)。

##### ・その他の清掃ボランティア活動

各地域においても地域ボランティア活動に参加しています。

名古屋駅地区街づくり協議会による名古屋駅前清掃ボランティア活動、国土交通省河川事務所主催「安倍川流木クリーンまつり」や「天竜川クリーン作戦」の河川清掃ボランティア活動(写真6)など、地域と密着したボランティア活動に取り組んでいます。

### (2) 環境に配慮した取組み

地球にやさしい太陽光発電設備の設計・施工・保守を通じ、年々深刻化するエネルギー資源問題の解決に貢献します。また、一部の社屋に太陽光発電設備を導入し、地球環境にやさしい事業所づくりに取り組んでいます(写真7)。

## 6. おわりに

NDSグループのCSR活動について、その取組みの一部をご紹介してきましたが、NDSグループはこれからも、ステークホルダーの皆様にとっての価値増大を図るべく、CSR経営を一層深化させ、コーポレート・ガバナンス体制を強化しつつ、お客様サービスの向上、人材育成と働きやすい職場づくり、安全への取組み、環境に配慮した事業活動、地域や社会との共生、株主・投資家様とのコミュニケーションの強化を進めてまいります。



写真5 カーブミラー清掃



写真6 安倍川流木クリーンまつり



写真7 萱津ビル太陽光発電設備